

# 港労研通信

第17号2024年9月30日

全国港湾労働組合連合会(全国港湾)

港湾労働政策研究所

〒144-0052 東京都大田区蒲田5-10-2日 港福会館 1F

TEL03-3733-2561 FAX03-3733-2627

http://zenkoku-kowan.jp/

## 全国港湾活動日誌 2024年9月1～30日【別添資料1】

9/4～5 全倉運第79回定期大会

9/5 新橋駅前宣伝行動

9/11～12 全港湾第95回定期大会

9/11～12 日港労連第72回定期大会

9/12～13 検数労連第56回定期大会

9/18 第17回中執会議(FAX第15号)

9/18～19 全国港湾第17回定期大会

- ・第1号議案/23年度の主な取り組み経過
- ・第2号議案/24年度運動方針
- ・第3号議案/産別ストライキ権の確立について
- ・第4号議案/23年度決算及び24年度予算
- ・24年秋年末に於ける具体的活動方針について

大会は代議員、来賓、オブザーバー、役員を含めて221名が参加して開催した。議案は2日間に亘り熱心な討議が行われ、すべての議案が満場一致で採択された。

役員選挙で新たに中央執行委員長に竹内一(日港労連)氏が就任した。



【第17回定期大会より/2024年9月18日】

9/19 第1回(第17期)中執会議(FAX第15号)

9/24 労使政策委員会(FAX第17号)

・継続課題について▶原資確保/価格転嫁の取り組み、料金P/Tの開催への準備について▶石炭関係連絡会議への労使の対応について▶横須賀新港の四者協議開催について

・組合からの課題提起について▶指定事業体問題について▶独禁法に係る行政訴訟に関して▶人員不足対策について▶安全問題について▶特定利用港湾について▶年末年始例外荷役について、邦・外船社から例年どおり要請がありその際、会長は人手不足がいわれる中、組合は世間並の休

みを求めている。休ませてくれと言われれば否定できない。厳しい状況にあることを伝えた。以上の課題について協議を行った。

9/24 「石炭火力発電の休廃止等に伴う港湾運送への影響に係る連絡対策会議」を開催

9/25・27 検定労連第52回定期大会

9/30 第1回常任中執会議

・第17回定期大会で提起された諸課題について▶和歌山日高港(非指定港)バイオマス発電用の木質ペレット約20万トン輸入する件について▶秋田港能代運輸について▶本船の安全に関するPSC(外国船舶査察官)適切に配置されない問題について▶港と地区に「防災無線」がなく「防犯無線」が設置されている現状について。

・当面の取り組みについて▶24秋年末中央行動/11月6～7日▶第46回ITF世界大会について/10月12～21日/開催地：モロッコ・マラケシュ/竹内委員長、玉田書記長、光部中執、オブザーバー：上村書記局長が参加する。

## 港運事業関係及び政治経済等 9月1～30日

※参考資料として業界紙・一般紙より【資料2及び3】

9/2 自民党・港湾議連が総会(MD・海事)

港湾IT化、中国に遅れ取る現状を危惧

9/2 世界のコンテナ港トップ100(海事)

9/3 米東岸労使交渉は膠着状態続く(MD)

9/3 イスラエルで50万人デモ、人質解放求め(日経・赤旗)

労組、人質解放へ停戦求める。強行路線の首相に圧力

9/3 大企業内部留保539兆円、最大に(赤旗)

9/3 辺野古設計変更抗告訴訟で、県の訴え棄却(赤旗)

9/5 関東地方整備局、11月から京浜港～鉄道の現場実証横浜本牧～宇都宮貨物ターミナル駅館で(MD)

9/9 国交省、AIターミナルでアンケート(MD・海事)

CT運営9割超が前向き。課題はノウハウ不足やコスト。

9/9 北米東岸労使交渉、ILA、ストを全会一致で支持(MD・海事)

9/10 「プレミアム・アライアンス」を結成(MD・海事)

ONEなど3社、日本寄港強化。欧州はMSCと提携。

9/10 日通、作業用車いす開発(MD・海事)

9/11 北米西岸の横浜港寄港を休止へ(MS・海事)

MSC、2M解消後の東西航路、日本は海外経由で対応

9/11 ボーイングと労組、25%賃上げ暫定合意(赤旗)

9/12 VW、雇用保障の協約破棄(赤旗・日経)

独フォルクスワーゲン、工場閉鎖・解雇に道筋

- 9/12 コンテナ船社、新アライアンス固まる(海事)  
スエズ・喜望峰、両にらみ
- 9/12 ジェミニ、北米3社サービスで横浜寄港(MD・海事)
- 9/20 兵庫県知事不信任決議を可決(日経)  
告発文書問題、議会解散か失職 選択
- 9/20 全国港湾新委員長に竹内一氏(MD・海事)
- 9/24 「喫緊の課題は賃上げと人員不足対策」  
全国港湾新委員長に竹内一氏にインタビュー(MD)
- 9/24 立憲民主党代表に野田元首相(赤旗)
- 9/27 袴田さん再審無罪 静岡地裁「三つの捏造」(赤旗)
- 9/28 自民新総裁に石破氏 裏金議員後任の可能性に言及  
党内きっての改憲・タカ派(赤旗)

## 全国港湾関係資料

<2024年9月分>

### 1. 新聞図書関係

#### (1) 定期購読紙誌

- ① 日本経済新聞(日経)
- ② しんぶん赤旗(赤旗)
- ③ 物流ニッポン(物流)

#### (2) 業界関係

- ① 日本海事新聞(海事)
- ② マリタイムデーリーニュース(MD)
- ③ シッピングガイド(SG)

◇アスベスト対策情報 2024年9月1日

発行：石綿対策全国連絡会

特集：石綿対策全国連絡会第36回総会特集

記念講演「アスベスト問題に関わって—1980年代半ばからの取り組み」  
村山武彦(東京工業大学教授)

特別報告①「建設アスベスト訴訟の現局面と今後の課題」  
清水謙一(建設アスベスト所掌全国連絡会事務局長)

特別報告②「災害とアスベスト—阪神淡路30年プロジェクト」  
西山和宏(ひょうご労働安全衛生センター事務局長)

### 2. 関係組合機関誌等

◇「全倉運」第1528号 9月25日

発行：全日本倉庫運輸労働組合同盟

特集：全倉運第79回定期大会/25年度運動方針などを採択  
新年度に向けて議案を採択/石田壮一(住友倉庫)委員長  
を選出

◇「日通労働」Vol. 2993 2024 September

発行：全日通労働組合

特集Ⅰ：第67回青年部一部報コンクール結果

特集Ⅱ：連合2024平和行動in広島/長崎

◇「海員」2024年9月1日 9月号 通巻902号

発行：全日本海員組合 本部

特集：海の道 ～天草を行く～

- ・海員トピックス：戦没船員慰霊式典
- ・新造船・航洋丸(三代目)が竣工/日本サルヴェージ株式会社
- ・漁業技能実習生へ労働関係法令講習を実施
- ・漁協や水産会社による漁業ガイドンス開催
- ・共同船舶株式会社による進路ガイドンス開催

◇「船員しんぶん」 発行：全日本海員組合

第3063号 9月5日

特集：新造船 第七岬洋丸が出航

最新鋭の設備と優秀な船員のチームワークで安全航海  
第85回定期全国大会に向けて地区大会を開催

第3064号 9月15日

特集：船員の住民税減免実施/高知県・宿毛市  
船員税制7番目の自治体

第3065号 9月25日

特集：内航貨物船と外国籍船ケミカルタンカーとの  
海難事故/公正を欠く司法判断に対する声明を公表

3. 雑誌、機関誌等(謹呈・贈呈含む)

◇「研究と資料」発行：NPOかながわ総合政策研究センター

・巻頭言：世界自動車産業の過剰生産と「EV化」の行方/  
関東学院大学名誉教授、かながわ総研理事長 清响一郎

・そうけんセミナー「農業基本法の改定で日本の食料自  
給率はどうなる？」横浜国立大学名誉教授・大妻女子大  
学名誉教授 田代洋一

・NPOかながわ総研2024年度総会 第3号議案24年度事業  
計画の説明

◇「港湾」Vol. 101 September 2024

発行：公益法人 日本港湾協会

特集：みなとに携わる人々/守り人、伝える人、つなぐ人  
特別寄稿：港湾の『選ばれる職場』づくりと人材育成

政策研究大学院大客員教授 井上 聡史

◇「港湾防災」 第717号 9月10日

発行：港湾貨物運送事業労働災害防止協会

特集：令和6年度 主要港督励巡視実施される

猛暑の中で全行程無事終了/横浜港-名古屋港-神戸港-  
博多港を対象に7/23~7/26

◇フェニックス 第405号 2024年9月1日

発行：航空労組連絡会

特集：好調な旅客需要 売り上げ顕著/第1四半期決算、  
航空大手2社。両社トップ 計画通りアピール。好業績予  
想される中間決算

◇羅針盤 第43号 2024. 9. 1

発行：羅針盤を発行する会

▶内航おしゃべり広場⑩▶内航の現実に思う3 ブラック企  
業の見分け方▶海の非専戦を求めて▶船長とのテレホン会  
話/全日海は襟を正して出直すべき▶漫画/おしゃべり日記

▶働き方改革は現場の力で実現しよう▶海員組合森田前組  
合長の6億円横領問題の本質▶ビキニ水爆被災船員遺族  
の裁判/国側は法廷に現れず▶解雇を撤回させ、必ず船に  
戻る/徳島合同労組オーシャン東九フェリー分会

◇アスベスト対策情報 2024年9月1日

発行：石綿対策全国連絡会

特集：石綿対策全国連絡会第36回総会特集

記念公園「アスベスト問題に関わって—1980年代半ばか  
らの取り組み」  
村山武彦(東京子業大学教授)

特別報告①「建設アスベスト訴訟の現局面と今後の課題」  
スト訴訟全国連絡会事務局長)

特別報告②「災害とアスベスト—阪神淡路30年プロジェ  
クト」西山和宏(ひょうご労働安全衛生センター事務局長)

・給付金改正提案～私たちの提案～すべての建設アスベ  
スト被害者を対象とした建材メーカーも拠出する建設  
アスベスト給付金法への改正を/2024年1月 建設アスベ  
スト訴訟全国連絡会

◇学習の友 9月号 2024.9.1 NO.853

特集：「公共の再生」と労働運動

- ・公共を再生する自治体の役割 久保木匡介
- ・NTT法廃止の問題点  
—大軍拡と情報通信の公共性の破壊— 稲生 勝
- ・再公営化を模索するヨーロッパ 尾林芳匡
- ・シカゴ教員組合の学校統廃合反対運動からより大きな  
対抗軸へ 山本由美

◇全国食健連ニュース 9月24日 NO.325号

発行：国民の食糧と健康を守る運動全国連絡会

特集：コメ不足、自民じゃダメだ！ 政治を変えよう

食健連「2024年度(第35回)総会」を開催

◇Monthly Note Vol.201

発行：全労済協会

- ・24年度「退職準備教育研修会/コーディネーター養成講座」
- ・第193回理事会・第78回定時評議員会開催報告
- ・公募委託調査研究 発刊報告書

◇「大原社会問題研究所雑誌」NO.791・792 2024.9・10

発行：法政大学大原社会問題研究所

特集：世界のベーシックインカム運動の現状と課題

—アイルランド、ブラジル、イラン、トルコ

特集にあたって

岡野内 正

アイルランドにおけるUBI構想を取り巻く政治情勢と課題

南野 泰義

ブラジルにおけるベーシックインカムと住宅・土地問題  
との連続性 山崎 圭一

イランにおけるUBI制度の導入と失敗—その政治経済学的  
な背景と社会運動との関係性 ケイワン・アブドリ

トルコの社会保障政策の変遷と課題—限定的なベーシッ  
クインカムを基軸として再検討 今井 宏平

◇毎月勤労統計調査月報—全国調査—NO.904 2024年5月  
分(24年9月3日到着分)

24年(令和6年)5月分結果の概況

### 1. 賃金

24年5月の現金給与総額は規模5人以上で297,162円、前  
年同月比2.0%増(規模30人以上では334,010円、前年同月  
比2.5%増)となった。

実質賃金(総額)は、規模5人以上で前年同月比1.3%減(規  
模30人以上では0.7%減)となった。

### 2. 労働時間

24年5月の総労働時間は規模5人以上で136.8時間、前年  
同月比1.0%増(30人以上では143.6時間、前年同月比1.7  
%増)となった。総実労働時間のうち所定内労働時間は12  
7.0時間、1.27%増(規模30人以上では前年同月2.0%増)  
所定外労働時間は9.8時間、2.0%減(同1.7%減)となった。

### 3. 常用雇用

24年5月の常用雇用は、規模5人以上で前年同月比1.3%  
増(30人以上では前年同月比1.2%増)、就業形態別にみる  
と、一般労働者は2.9%増(同0.7%増)、パートタイム労  
働者は2.2%減(同2.5%増)となった。